



8

1_徳谷神社で女子児童が稚児の舞を奉納した 2_神輿の準備が完了し、祭りの安全を祈願 3_出番を待つ小さな男の子。舞台上の太鼓の動作をまねる 4_商店街では神輿に続いて女性陣の踊り 5_笛の音が神輿練り歩きに花を添える 6_住民総出の輪踊りで祭りのムードは最高潮に 7_商店街を練り歩く勇ましい男神輿 8_夜空を彩る大輪の花。千頭駅前河原から撮影 9_沿道で神輿に応援を送る女性陣 10_神輿を見守る女性にも笑顔 11_激しいパチさばきを見せる赤石太鼓 12_夏祭りに大人も子どもも男も女も関係ない。その一体感こそが祭りの醍醐味



5



3



6



4



11



10



みんなの表情が生き生きしている
威勢の良いかけ声やお囃子、迫力の太
あでやかな踊りと勇壮な神輿が、眼前

鼓の音が聞こえる
を通り過ぎていく

小長井地区・8月7日

徳谷神社大祭

3年に一度、地域住民総出でにぎわう

稚児の舞おそかに奉納
徳谷神社（小長井）では
8月7日、3年に一度の大
祭が開かれた。
神社祭殿では午前9時半、
巫女姿をした女子児童が
「稚児の舞」を奉納した。
小学校低学年は順の舞、高
学年は八幡の舞。この日の
ために練習を重ねた子たち

は、息の合った優雅な舞を
披露した。
境内では、男衆が神輿の
準備を始めた。見る間に、
台座に縄で固定されていく
神輿。どんな激しい動きに
も耐えられそうだ。完成後
は祭りの安全を祈願。神輿
はトラックに乗せられた。
神輿と踊りが練り歩き

午後1時。小長井地区の
メインストリートでは、神
輿や踊りの練り歩きが始ま
る。かけ声と共に進む隊列
あとから男神輿も合流し、
祭りは激しさを増す。
「えっさ、えっさ」「わっしょ
い、わっしょい」。
商店街に大きな声が響き
渡り、住民が沿道で手を振
る。子どもたちが神輿を追
いかける。おばあちゃんた
ちも楽しそう。祭りを通し
て、地域全体が一つになっ

輪踊りや花火で最高潮に
夜はつつみ遊園地（川根
大橋もと）で輪踊りや花
火大会が開かれた。飛び入
り参加大歓迎の輪踊りは、
この日最大の催し。盛り上
がりは最高潮に達した。
3年に一度の大祭。関係
者の顔も来場者の顔も、こ
の日を迎えられた喜びにあ
ふれていた。

地域の結束力を再認識

3年に一度の大祭ということで、
みんな力が入っていました。重機
を用意する人もいれば、慣れない
音響機器に汗を流す人も。輪踊り
の女性陣は、5月から練習をして
いたんです。みんなそれぞれの役
割の中で、役割以上のことをやる
うと頑張っていました。

普段は顔を合わせることがない
人とも「祭り」は引き合わせてく
れます。あらためて地域の結束力
を確かめられた祭りでした。



夜の部・司会を務めた
小長谷常夫さん
(小長井)



7



5

12



2

4